

吉徳これくしょん展示室（東京都台東区）

# おひなさま展

会期／1月24日(月) ▼ 3月3日(木)



①京都で作られた内裏雛②古式享保頭立雛（江戸時代中期）  
③享保頭立雛（江戸時代後期）④京都の名店・丸平大木人形店が手掛けた「三つ折れ稚児雛」大正11（1922）年⑤横浜の発展に欠かせなかった実業家・高島嘉右衛門ゆかりの雛人形  
⑥木彫彩色雛。平田郷陽と白澤会を結成した久保佐四郎作

今年も株式会社吉徳では浅草橋本店の4階にある「吉徳資料室」にて「おひなさま展」を開催中だ。会場には日本の人形の原点と言われている天児・這子をはじめ、江戸時代に作られた京人形や立雛など同社ならではの展示品が並ぶ。

目玉は昨年の夏に寄贈され、初披露となる高島嘉右衛門ゆかりの雛人形。高級品を多く扱った日本橋十軒店の川端玉山が製作したもので高島家に嫁ぐ際、用意された嫁入り道具だ。木枠で組み立てられた七段飾りの飾り方にも注目だ。

「箱書きに従って飾ったところ、一般的な飾り方とは異なる並び方がみられる。個性的な並び方にも注目してほしい」（担当者）。

六段目の人形「鶴亀の舞」は昭和4年に皇族から拝領したというから、当時の高島家の影響力は大きかったに違いない。

他にも稚児雛や木彫彩色雛など見応え十分の「おひなさま展」。各人形のお顔や衣裳も見どころの一つ。同展は3月3日(木)まで。

吉徳これくしょん展示室

株式会社吉徳浅草橋本店4階

住所／東京都台東区浅草橋1-9-14

電話／03-3863-4419

さいたま市岩槻人形博物館（埼玉県さいたま市）

企画展

# 創作人形作家の雛とおもちや絵 人形の近代をめぐる

会期／1月29日(土) ▼ 3月21日(月)・祝



②



①



④



③



⑥



⑤

①「かぐや姫」岡本玉水／昭和25（1950）年  
 ②同館初公開の「稚児雛十五人揃」野口光彦／昭和時代初期  
 ③「菜の花雛」／明治～昭和時代初期  
 ④「久平雛」久保佐四郎・平田郷陽／昭和5（1930）年  
 ⑤「色紙堤雛図」清水晴風／明治～大正時代  
 ⑥「小物玩具」久保佐四郎／大正～昭和時代  
 ⑦「紅絵売り」岡本玉水／昭和時代（写真右）が来館者を迎えてくれる



⑦

さいたま市岩槻人形博物館は2022年2月22日に開館2周年を迎える。田中裕子館長は「開館直後の休館など紆余曲折はあったが、皆様のおかげで開館2周年を迎えることができる」と喜ぶ。

今回のテーマは雛とおもちや絵。「i. おもちや絵」では一点物とされる肉筆の掛軸や色鮮やかな木版多色摺によるおもちや絵が並ぶ。担当学芸員は「保存が難しい素材で作られた人形玩具を後世に伝える役割も担っていた」と話す。

「ii. 白澤会の雛と人形」では白澤会のメンバーの作品を多数展示。各々の個性が光る創作人形は実に見応えがある。続く「iii. 野口光彦の雛人形」では、御所人形で名を馳せる野口光彦が手掛けた木目込の雛人形や稚児雛十五人揃などが展示されていて、愛らしい表情に釘付けになる。

床に貼られた誘導用の矢印シールに沿って歩いて「おもちや絵」「白澤会」「野口光彦」の世界を存分に楽しんでいただきたい。

さいたま市岩槻人形博物館

住所／埼玉県さいたま市岩槻区本町

6-1-11

電話／048-749-0222

## 横浜人形の家（神奈川県横浜市）

企画展

## ひな人形展

会期／2月5日(土) ▼ 3月13日(日)



①②野口光彦作の「内裏雛」「三人官女」「五人囃子」。裾広がりの富士雛は木目込人形（昭和40年代）③つるしびな教室「遊ぶ（あそぶ）」の作品④次郎左衛門雛（18世紀）と源氏物語絵屏風（19世紀）⑤立姿のペコちゃん＆ポコちゃんひな人形（株式会社吉徳監製、株式会社不二家所蔵）⑥企画展示室で開催中

## 横浜人形の家

## 3階企画展示室

住所／神奈川県横浜市中区山下町18

電話／045-671-9361

横浜人形の家では2022年企画展として「ひな人形展」を2月5日(土)から開催している。同館所蔵の「享保雛」「有職雛」「古今雛」（いずれも江戸時代に製作された人形）をはじめ、稚児雛や御所人形の作り手として名高い野口光彦の木目込人形が展示されている。展示室の中でひととき目を引くのが、キャラクターのひな人形やぬいぐるみだ。ひなまつりの衣裳を着たぬいぐるみのモンチッチや十二単に身を包んだペコちゃん、耳に光るアクセサリーを付けたリカちゃんなどが会場を華やかに盛り上げる。

「今回の企画展の特徴はキャラクターのひな人形。非売品のものも多く、あまり見ることができない展示品もある。この機会にぜひ楽しんでいただきたい」（担当者）。

艶やかで古風なひな人形と、絶大な人気を誇るキャラクターたちの競演に心が躍る方も多いはず。同館ならではの「ひな人形展」でワクワクを感じていただきたい。

越前おおの「荒島の郷」(福井県大野市)

# 春を彩る越前おおのひな祭り

荒島の春風2022

会期/1月15日(土)▼3月6日(日)



①家庭で眠っていた歴史を感じさせるひな人形がずらり②壁面の棚飾り③御殿飾り④大木平蔵作のひな人形も展示

昨年新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し中止。今年は2021年4月にオープンした道の駅「越前おおの荒島の郷」内の文化伝承室の一会場で行われた。大正、昭和、平

成、令和のひな人形やキャラクターひな等、約1千体のひな人形が飾られた。「初めての棚飾りは、若い方やシニアの方にも『こんな飾り方もいいね』と好評です」と主催者。

道の駅「越前おおの荒島郷」文化伝承室

住所/福井県大野市蔵生137-21-1 連絡先/やまだ・0779-66-2082

エルミこうのすショッピングモール(埼玉県鴻巣市)

# 鴻巣びつくりひな祭り2022

会期/2月18日(金)▼3月5日(土)



①エルミこうのすショッピングモールの「日本一高いピラミッドひな壇」②産業観光館「ひなの里」③鴻巣文化センター「クリアこうのす」

18回目となる今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束を願うイベントとして実施。各会場では、検温・アルコール消毒などの感染防止対策が徹底された。

メイン会場の「ひな人形で作る日本一高いピラミッドひな壇」は31段・高さ7mで、人形製作が地場産業である「人形のまち」鴻巣を広くアピールする。

エルミこうのすショッピングモール(メイン会場)一般財団法人鴻巣観光協会

住所/埼玉県鴻巣市本町1-1-2 問合せ/048-540-3333